

地黄湿地の看板作成に  
よる保全活動への寄与

# 1.地黄湿地とは??

## 地黄(じおう)湿地

- ・大阪府能勢町の山間部にある滲水(しんすい)湿地
- ・府内では希少となった多くの湿地性の動植物が生息する場



モリアオガエル



サギソウ



## 2.地黄湿地の現状について

地黄湿地は周辺からの水と土砂の供給によって維持されている湿原です。かつては草刈り場としても利用されてきたので日当たりがよく、特有の湿地環境に多様な動植物が生息生育していました。

しかし、周辺の里山林が利用されなくなると樹林の発達によって水や土砂の湿地への供給がとまり、また被陰によって湿地環境特有の植物や動物が衰退してしまいました。

## 2.地黄湿地の現状について



# 3.保全活動の歴史



- 1998年 大阪府緑地環境保全地域に指定  
観察用木道を設置
- 2001年 自然観察会スタート
- 2006年 特定外来生物ウシガエルの侵入確認、  
駆除開始
- この頃からハッチョウトンボの生息が確認できず
- 2013年 地元能勢高等学校  
(現豊中高等学校能勢分校)  
による環境学習スタート
- 2014年 地黄湿地再生・保全検討会議設立
- 2020年 14年ぶりにハッチョウトンボの生息を確認

# 3.環境学習(授業での学び)

- ・「地域と生活」の授業で、地黄湿地のフィールド調査を行った。
- ・この授業を通して、地黄湿地には動植物が豊富なことや、湿地の現状を知ることができた。



## 4. 私たちにできることは？

### 能勢町の地黄湿地を広める

地黄湿地の希少な動植物の情報はもちろん動植物の捕獲・採取禁止など、正しい情報を多くの人に知ってもらおう。

### 保全活動や観察会に多くの人に参加してもらおう

みんなが地黄湿地を大切に守っていくことに繋がりたい

## 5.設定したテーマ

# 地黄湿地の看板作成



# 6.SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 7. 参考にした看板の例

## 三草山ゼフィルスの森

**三草山ゼフィルスの森**

大阪府能勢町と兵庫県猪名川町の境に位置する三草山には古くから人々の暮らしを支えてきた里山林が点在しています。そのため所々に炭窯跡や台場クヌギがみられます。

生活に必要な木を伐ったり落ち葉を集めたりすることで、森が明るくなりたくさんの動物が暮らせる環境となっていました。しかし、燃料革命・肥料革命以降、里山林の利用は激減し、人の手が入らなくなると植物は繁り密い森へと変化していきました。

人が生活の中で利用することで、草地や低木から高木などさまざまな遷移段階に滞在する里山林は、結果的に多くの生きものが生息できる、生物多様性の高い環境をもたらしました。この環境を維持するため、地元の人たちが、大阪府、能勢町、トラスト協会に声をかけ始めたのが三草山ゼフィルスの森保全活動です。平成4(1992)年に大阪府がこの一帯を緑地環境保全地域に指定し、府内でも貴重な三草山の自然を守ろうと多くの人たちの協力を得て保全活動がスタートしました。

ゼフィルスとはミドリシジミ類のチョウの愛称で、三草山では日本産25種のうち10種類が確認されています。中でもヒロオビシジミは府内唯一の生息地となっており、三草山が国内分布の東限となっています。現在はゼフィルスなどを指標とし、それらの生育環境となるナラガシワを中心とした落葉広葉樹林を守るため、森林所有者や地元ボランティアの協力を得て、昔から行われてきた里山林の管理を行っています。また日本顕理学会や大阪府立大学などの研究機関の協力を得て、さまざまな調査を行っています。

三草山ゼフィルスの森は大阪府緑地環境保全地域に指定されており、自然環境保全条例によりすべての動物種の捕獲・採集が禁止されています。

三草山ゼフィルスの森保全活動にご支援・ご協力をお願いいたします。

公益財団法人  
大阪みどりのトラスト協会

## 歌垣 銀寄栗の森

**歌垣 銀寄栗の森**

キマダラルリツバメが舞う  
銀寄栗林の再生をめざして  
保全活動を行っています。

自然の豊かさあふれる歌垣で、地域の人々とともに、いろいろな生きものがにぎやかに生息する里地里山を、未来へと繋げていくために！

毎月第3土曜日 私たちが活動しています

公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会  
公益社団法人 大阪自然環境保全協会

この看板は、公益財団法人大阪コミュニティ財団(大輪会ふれあい基金)の助成を受けて作成しました。

民有地となっていますので、関係者以外の立ち入りはご遠慮ください。

# 8.看板作成過程

- ① 情報収集
- ② どの情報を載せるかの検討
- ③ 友達や先生に見てもらおう
- ④ 再編集



# 9.大阪みどりのトラスト協会との打合せ

11月26日

大阪みどりのトラスト協会 飯野さんからのアドバイス

- ① 小見出しをつけて読みやすい文章に!
- ② 写真にそれぞれの動植物名を入れる!
- ③ 許可なき立ち入りの禁止を知らせる!

などなど...

これらを踏まえて

より良い 地黄湿地の看板 の作成へ!!

# 10.看板完成!!!



## 地黄湿地

### 【地黄湿地について】

大阪府能勢町の山間部にある、面積1haの滲水湿地です。  
傾斜の穏やかな上流から滲み出してきた水がたまり、形成されました。

### 【生物多様性】

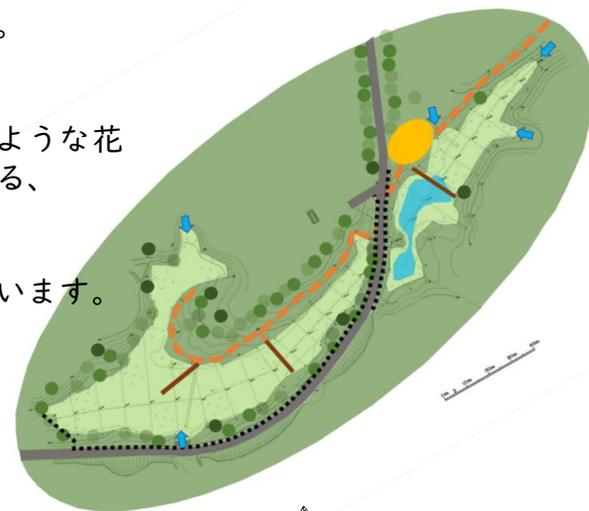
湿地には、たくさんの希少な動植物が生息・生育しています。  
日本一小さなトンボや、泡の卵を産むカエル、純白の羽を広げる鳥のような花  
など、府内でも生息地が限られた湿地特有の希少な野生生物が見られる、  
生物多様性ホットスポットです。

### 【保全活動の内容】

湿地の環境は、人が湿地内や周辺里山林を管理することで守られています。  
人の手が入らない状態では、湿地の環境が徐々に失われていきます。

活動は生きもの観察をメインに毎月活動しています。  
季節ごとにさまざまな動植物が姿をあらわします。

※地黄湿地を知っていただき、観ていただきたい!のですが、  
区域内には自由には立ち入ることはできません。  
協会が行う観察会や定例活動にご参加ください。



公益財団法人  
大阪みどりのトラスト協会

この看板はTOTO 水環境基金の支援  
を受けて作成しました。



豊中高校能勢分校2期生  
辻小雪 谷口友紀奈 瀬川百映  
製作

# 11. 今後の予定

① 地黄湿地に看板の設置

→ どのような影響があるのか調査

② 地黄湿地以外の場所にも

ポスターを掲示してもらえるように交渉

## 12. 今後の展望

- ① 地黄湿地の記事を作成し、  
より多くの人に地黄湿地を訪れてもらいたい。
- ② 地黄湿地以外にも  
能勢町の自然豊かな場所について伝えたい。



# ご清聴ありがとうございました!!



## 地黄湿地

### 【地黄湿地について】

大阪府能勢町の山間部にある、面積1haの滲水湿地です。  
傾斜の穏やかな上流から滲み出てきた水がたまり、形成されました。

### 【生物多様性】

湿地には、たくさんの希少な動植物が生息・生育しています。  
日本一小さなトンボや、泡の卵を産むカエル、純白の羽を広げる鳥のような花など、府内でも生息地が限られた湿地特有の希少な野生生物が見られる、生物多様性ホットスポットです。

### 【保全活動の内容】

湿地の環境は、人が湿地内や周辺里山林を管理することで守られています。  
人の手が入らない状態では、湿地の環境が徐々に失われていきます。  
活動は生きもの観察をメインに毎月活動しています。  
季節ごとにさまざまな動植物が姿をあらわします。

※地黄湿地を知っていただき、観ていただきたい！の  
ですが、  
区域内には自由には立ち入ることはできません。  
協会が行う観察会や定例活動にご参加ください。



公益財団法人  
大阪みどりのトラスト協会

この看板はTOTO 水環境基金の支援  
を受けて作成しました。



豊中高校能勢分校2期生  
辻小雪 谷口友紀奈 瀬川百映  
製作